

診療科名: 内科

申請者名: _____

レジメン名称: E-Ld療法(2cycle)

疾患名(癌種): 多発性骨髄腫 再発・難治

適用目的(対象): 術前補助化学療法 術後補助化学療法 進行再発 一次 二次以降 三次以降 放射線併用 その他()

レジメン記入フォーマット

フォーマットページ数(/)

通しNo	薬品名・規格	投与量	手技	点滴時間・速度	day(1)	...	day(8)	...	day(15)	...	day(21)	day(22)	day(28)
①	レナデックス錠4mg	28mg	経口投与	エムプリシティ投与3時間前	●		●		●			●	
②	レスタミンコーワ錠 10mg カロナール錠 200mg	50mg 600mg	経口投与	エムプリシティ投与前	●		●		●			●	
③	レブラミドcap 腎機能により量調整	25mg/日	経口投与 眠前	day 1~21 内服									
1	生理食塩液 50mL デキサメタゾン 6.6mg ファモチジン注 20mg	1P	点滴注射	30分かけて エムプリシティ投与1時間前	●		●		●			●	
2	生理食塩液 100mL	1P	点滴注射	1時間かけて 開始と同時に②を内服	●		●		●			●	
3	生理食塩液 注射用水 エムプリシティ点滴静注用 フィルター使用	230mL (25mg/mL) 10mg/kg	点滴注射	300mg Vは13mLで、400mg Vは17mLで溶解 300mL/hr 【速度】別途医師指示あれば それに従う	●		●		●			●	
4	生理食塩液 50mL	1P	点滴注射	流し用(30分かけて)	●		●		●			●	

【投与時間例】

内服①レナデックス錠を内服

↓

(2時間経過してから)

注射1 生理食塩液 50mL (30分かけて) 主管
デキサート注 6.6mg
ファモチジン20mg

↓

内服②レスタミンコーワ錠10mg 5錠
カロナール錠200mg 3錠

↓

注射2 生理食塩液 100mL(1時間かけて) 主管

↓

注射3 生理食塩液 230mL(投与速度は左記参照) 主管
注射用水
エムプリシティ点滴静注用

↓

注射4 生理食塩液 50mL (30分かけて) 主管

同じ時間でOK

上記表にて設定する抗がん剤について

通しNo	薬品名・規格	標準値	上限値
5	エムプリシティ	10mg/kg	
③	レブラミド	25mg/日	

- ・最初の2サイクルは28日毎に施行。
- ・3サイクル目よりエムプリシティは2週ごとに投与2回で1サイクルとする
- ・レナデックス錠やデキサメタゾン投与とは、Infusion reactionの程度やその他の副作用の程度に応じて調整可能

JCO 2012 vol 30 No.16
Phase I trial of anti-CS1 Monoclonal Antibody Elotuzumab in Combination With Bortezomib in the Treatment of Relapsed/Refractory Multiple Myeloma

インターバル日数 (28)日
レジメン基準日 day(1, 8, 15, 22)
総クール数 (1)クール

※この表にてオーダリングにレジメン登録しますので、漏れなく記入して下さい。

【投与基準】	
好中球数	≥ 1,000/μ L
血小板数	≥ 7.5万/μ L (3.0万/μ L)
Hb	≥ 8.0g/dL
AST/ALT	≤ 3 × UL (施設基準値上限)

レジメン登録コード 血内 98
レジメン審査部会承認 | 2018.11.15